

**おすすめの本** **8** 月号



<小学1・2年>



『もののけしよくどう うらめしや』

たにむら のりあき作

福音館書店

真夜中にひっそりと開く食堂「うらめしや」。自慢のメニューは「でんちにぎりずし」や「ほこりのほっこりスープ」と、不思議なものばかり。お客さんは、リモコンさんや掃除機さんで…。物と物の関係を「食べる」で描いた絵本。

<小学3・4年>



『カンタの訓練』

草野 あきこ作、かけひ さとこ絵

岩崎書店

大好きなパピーウォーカーのもとを離れ、訓練センターにやってきたラブラドルレトリバーのカンタ。これから、盲導犬になるための本格的な訓練が始まる。日々の訓練に励み、盲導犬らしさを模索していき…。

<小学5・6年>



『こそあどの森のいないしょの時間』

岡田 淳作

理論社

だれでも、胸の中に大切に秘めている大切なできごとがある。スキッパー、トマトさん、ポットさん、スマレさん、ギーコさん、トワイエさん、ミルク、7人の森のひとそれぞれのいないしょの話を、1話ずつおさめた短編集。

<全学年>



『ちよっぴりながもちするそうです』

ヨシタケ シンスケ著

白泉社

果物をおでこにのせると、大事なことが見つかりやすくなるそうです。効果があるかも？ヨシタケ流おまじないが満載。「あつかったらぬげばいい」「かみはこんなにくちゃくちゃだけど」に続く、心がちよっぴり軽くなる絵本。

<小学1・2年>



『タケシのせかい』

室井 滋文、長谷川 義史絵  
 アリス館

タケシがこっそり、パパの秘密の箱を開けると、そこにはパパからの手紙が。その手紙の質問に答えるうちに、自分の周りにはいろいろな人がいることに気づく。そして、箱の中身とは？ウェルビーイングについて考える絵本。



『つきーとカーコのかぞく』

おくはら ゆめ作  
 佼成出版社

ねこのつきーとからすのカーコはおさななじみ。ある日、カーコが家出した。お父さんたちがふたごのたまごに夢中で、カーコにかまってくれないという。ふたりがつきーの家に行くと、ちょうどカーコの家から電話がきて…。



『遠い野ばらの村』

安房 直子文、高橋 和枝絵  
 あすなろ書房

小さな村で雑貨屋をひらいているひとりぐらしのおばあさん。ある日、孫だという女の子がひよっこりやってきて、ほんものばらのおいがするせつけんを置いていく。またたく間に売り切れるそのせつけんは…。心温まる童話。

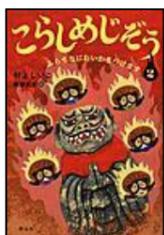
<小学3・4年>



『威風堂々キツネの尻尾 4巻』

ソノ ウォンピョン作、Mr.General Store絵、渡辺 麻土香訳  
 永岡書店

クミホ（九尾のキツネ）の血を引く女の子ダンミの「一番」の座が次々と奪われた時、「嫉妬」の尻尾が登場して…。思春期真っ只中の女の子が悩んだり、失敗を重ねたりしながら成長していく、韓国発の青春ファンタジー。



『こらしめじぞう 2』

村上 しいこ著、軽部 武宏絵  
 静山社

フェイクニュースをでっちあげるやつ、友だちのお金を自分のものにするやつ…。おじぞうさんに手を合わせ、ムカつく相手の名をとなえと、代わりにこらしめてくれる!?こわくて面白い短編集3話を収録。



『ドリトル先生大航海記』

ヒュー・ロフティング作、横山 洋子監修、那須田 淳編訳、岡 次郎絵  
 Gakken

ドリトル先生は、動物と話せるお医者さん。先生の助手になり、少しずつ動物の言葉が話せるようになってきた少年トマスは、先生や動物たちといっしょに航海に出ることに…。折り返しのお話図解「物語ナビ」付き。

<小学5・6年>



『サーファーガール』

麻生 かつこ作、かわい ちひろ絵  
 小峰書店

突然の父親の死で、海の近くにある祖父母の家に母親と身を寄せる小学5年生のひなた。母親に内緒でサーフィン始めた彼女は、友達と一緒に地元のサーフィンキッズ大会に出場することになり…。



『ぼくの色、見つけた!』

志津 栄子作、末山 りん絵  
 講談社

「色覚障がい」を隠して生活する信太郎。母親は試すようなことをしてくるし、症状を知らない級友から似顔絵の唇を茶色に塗ったことを馬鹿にされ、自信を失ってしまう。だが、担任の先生が信太郎に向き合ってくれて…。



『6年2組なぞめいて』

吉野 万理子作、丹地 陽子絵  
 静山社

あれ?ん?なんだらう?この学校には、他校の子が知らないひみつがあって…。ある学校の、あるクラスに通う子どもたちを主人公にした、1話読み切りの短編集。6年2組のクラスメイトたちの15の話を収録する。